

小児科学

【原著論文】

- 1) Aisaka O, Ichikawa G, Koyama S, Shimura N: Relation between low-density lipoprotein particle size and insulin and diabetes mellitus. *J Pediatr* 155(4): 600-600, 2009.
- 2) Harada M, Hirota T, Jodo AI, Doi S, Kameda M, Fujita K, Miyatake A, Enomoto T, Noguchi E, Yoshihara S, Ebisawa M, Saito H, Matsumoto K, Nakamura Y, Ziegler SF, Tamari M: Functional analysis of the Thymic Stromal Lymphopoietin Variants in Human Bronchial Epithelial Cells. *Am J Respir Cell Mol Biol* 40: 368-374, 2009.
- 3) Imada Y, Fujimoto M, Hirata K, Hirota T, Suzuki Y, Saito H, Matsumoto K, Akazawa A, Katsunuma T, Yoshihara S, Ebisawa M, Shibasaki M, Arinami T, Tamari M, Noguchi E: Large scale genotyping study for asthma in the Japanese population. *BMC Res Notes* 31(2(1)): 54, 2009.
- 4) Shimaoka Y, Hatamochi A, Hamasaki Y, Shimura N, Arisaka O, Imai Y, Yamazaki S: Severe focal dermal hypoplasia in a female patient transmitted from a mildly affected mother. *J Dermatol* 36(3): 181-183, 2009.
- 5) Yoshihara S, Ono M, Yamada Y, Fukuda H, Abe T, Arisaka O: Early Intervention with Suplatast Tosilate for Prophylaxis of Pediatric Atopic Asthma: A Pilot Study. *Pediatr Allergy Immunol* 20(5): 486-492, 2009.
- 6) 花木啓一, 西村直子, 遠藤有里, 南前恵子, 堀川玲子, 有阪治, 神崎晋: 低身長児の心理的側面 新しい対面式身長イメージ評価尺度の開発. *成長科学協会研究年報 (32): 33-39, 2009.*
- 7) 加納健一, 村山直樹, 武田茂樹, 大久保泰宏, 安藤康宏, 岡田和久, 栃木典子, 手塚桂子: 栃木県立学校における学校腎臓検診について (平成20年度). *栃木県医学学会会誌 39: 85-87, 2009.*
- 8) 加納健一, 上山泰淳, 小林靖明, 加藤一昭, 栃木典子, 手塚桂子: 平成20年度の保健衛生事業団が関与した栃木県の小中学校と私立学校の腎臓検診について. *栃木県医学学会会誌 39: 88-90, 2009.*
- 9) 加納健一, 福田哲夫, 安藤保, 山崎トヨ, 上山泰淳, 青柳順, 加藤一昭, 関守康, 大金裕也: 宇都宮市学校腎臓検診について (平成20年度). *栃木県医学学会会誌 39: 91-93, 2009.*
- 10) 今高城治, 市川剛, 山内秀雄, 有阪治: Asperger症候群を早期に診断するための初期徴候の検討. *栃木県医学会会誌 39: 99-102, 2009.*
- 11) 今高城治, 塚田佳子, 新田晃久, 鈴木宏, 渡辺博, 山内秀雄, 有阪治: 日本における18トリソミー症候群の長期予後に関する検討. *日本遺伝カウンセリング学会誌 30: 123-126, 2009.*
- 12) 今高城治, 平尾準一, 有阪治, 東海林吉利子, 橋本富美子, 岩本良子, 東野怜奈: 獨協医科大学で支援した小児虐待事例(第1報) 平成19年の当院医療相談部における介入. *栃木県医学会会誌 39: 103-106, 2009.*
- 13) 今高城治, 平尾準一, 有阪治, 東海林吉利子, 橋本富美子, 岩本良子, 東野怜奈: 獨協医科大学で支援した小児虐待事例(第2報) 平成19年の入院歴を有した事例の検討(1). *栃木県医学会会誌 39: 107-112, 2009.*
- 14) 今高城治, 平尾準一, 有阪治, 東海林吉利子, 橋本富美子, 岩本良子, 東野怜奈: 獨協医科大学で支援した小児虐待事例(第3報) 平成19年の入院歴を有した事例の検討(2). *栃木県医学会会誌 39: 113-117, 2009.*
- 15) 松井永子, 近藤直実, 吉原重美 他: 小児気管支喘息患児におけるトシル酸スプラタストの有効性の検討. *小児科診療 72(12): 2379-2392, 2009.*
- 16) 福田啓伸, 吉原重美, 山田裕美, 阿部利夫, 有阪治: 当院でのエピペン®治療の現状と今後の課題.

日本小児難治喘息アレルギー疾患学会誌 7: 15-20, 2009.

- 17) 塚田佳子, 今高城治, 萩澤進, 山内秀雄, 平尾準一, 有阪治: 獨協医科大学小児科における在宅人工呼吸器療法の現状. 獨協医学会雑誌 36(3): 143-148, 2009.
- 18) 五十嵐浩, 白石裕比湖, 杉田憲一, 平尾準一, 井原正博, 菊池豊, 小林靖明, 石井徹, 有阪治, 上原里程, 中村好一, 桃井真里子: 川崎病のガンマグロブリン療法不応例の継続調査結果. 日本小児科学会雑誌 113(1): 69-74, 2009.

【症例報告】

- 1) Kurosawa H, Suzumura H, Okuya M, Fukushima K, Sugita K, Fujiwara T, Morishita E, Yoshioka A, Takamiya O, Arisaka O: Haemostatic management of surgery for imperforate anus in a patient with 13q deletion syndrome with combined deficiency of factors 7 and 10. *Haemophilia* 15: 398-400, 2009.
- 2) Kurosawa H, Okuya M, Matsushita T, Kubota T, Endoh K, Kuwashima S, Hagisawa S, Sato Y, Fukushima K, Sugita K, Okada Y, Park MJ, Hayashi Y, Arisaka O: JAK2V617F mutation-positive childhood essential thrombocythemia associated with cerebral venous sinus thrombosis. *J.Pediatr.Hematol.Oncol.* 31(9): 678-680, 2009.
- 3) Matsunaga T, Kurosawa H, Okuya M, Nakajima D, Hagisawa S, Sato Y, Fukushima K., Sugita K, Arisaka O: Chronic active Epstein-Barr virus infection with mosquito allergy successfully treated with reduced-intensity unrelated allogeneic bone marrow transplantation in a boy. *Pediatr.Transplant* 13(2): 231-234, 2009.
- 4) Imataka G, Chiba K, Yamanouchi H, Arisaka O: Three cases of Shaken baby syndrome without a history of shaking. *Dokkyo J Med Sci* 36(2): 99-102, 2009.
- 5) Imataka G, Igarashi A, Soda S, Yamanouchi H, Arisaka O: Usefulness of intravenous injection of Phenobarbital for Status epilepticus: A case report. *J.New Rem & Clin* 58(6): 984-988, 2009.
- 6) Imataka G, Igarashi A, Yamanouchi H, Arisaka O: Treatment for status epilepticus using intravenous Phenobarbital. *J.New Rem & Clin* 58(7): 1126-1130, 2009.
- 7) Imataka G, Ogino M, Nakagawa E, Yamanouchi H, Arisaka O: Electroencephalography-guided resection of dysembryoplastic neuroepithelial tumor. *Neuro Med Chir (Tokyo)* 48(7): 317-320, 2008.
- 8) Imataka G, Yamazaki R, Kuwashima S, Yamanouchi H, Arisaka O: Anterior spinal artery syndrome in 13-old-boy: A case report. *Dokkyo J Med Sci* 36(2): 89-94, 2009.
- 9) 西田光宏, 山崎弦, 吉原重美, 有阪治: 運動誘発試験で肺機能低下を認めたコリン性じんま疹の1例. *小児科臨床* 62(3): 451-455, 2009.
- 10) 今高城治, 萩澤進, 藤澤正英, 塚田佳子, 宮本健志, 山内秀雄, 平尾準一, 有阪治: 小児長期脳死の3例. 獨協医学会雑誌 36(3): 161-166, 2009.
- 11) 佐藤雄也, 市川剛, 藤澤正英, 今高城治, 福島啓太郎, 平尾準一, 杉田憲一, 有阪治: 健常年長児に発症した *Listeria monocytogenes* 髄膜脳炎. *小児科臨床* 62(2): 251-255, 2009.
- 12) 奥谷真由子, 萩澤進, 黒澤秀光, 杉田憲一, 渥美達也, 嶋緑倫, 有阪治: ホスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体を認めたループスアンチコアグラント陽性一過性低プロトロンビン血症の1例. *日本小児血液学会誌* 23: 377-380, 2009.
- 13) 塚田佳子, 今高城治, 井上尚, 国分則人, 山内秀雄, 有阪治: 歩行障害を主訴とした Charcot-Marie-Tooth病の女兒. *小児科* 50(13): 2099-2100, 2009.
- 14) 福田啓伸, 吉原重美, 西田光宏, 片塩仁, 和氣晃司, 平尾準一, 有阪治: シベレスタットナトリウム

水和物が有効であった急性呼吸窮迫症候群を合併した麻疹肺炎の乳児例．日本小児呼吸器疾患学会雑誌 20(1): 12-17, 2009.

【総説等】

- 1) 有阪治: HAIR-AN 症候群．小児科診療 72(増刊号): 323-323, 2009.
- 2) 有阪治, 鈴村宏, 桑島茂子: 骨系統疾患をめぐる問題．小児科臨床 62(12): 2773-2782, 2009.
- 3) 有阪治: 低出生体重児と肥満・生活習慣病．小児内科 41(9): 1359-1364, 2009.
- 4) 吉原重美: アレルギー疾患治療のエンドポイント: 小児喘息, 専門医のためのアレルギー学講座．アレルギー 58(7): 739-745, 2009.
- 5) 吉原重美: 乳児喘息の診断と治療—小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2008の改訂要点—．日本小児難治喘息アレルギー疾患学会誌 7: 234-237, 2009.
- 6) 吉原重美: 特集 ロイコトリエン受容体拮抗薬 アップデート: 序 ロイコトリエン受容体拮抗薬を用いた治療戦略．アレルギー・免疫 16(6): 9-11, 2009.
- 7) 吉原重美: 特集 喘息・アレルギー疾患の治療: 早期介入の意義と実際軽症の乳児喘息でも一生薬を使い続けるのでしょうか? . Q&Aでわかるアレルギー疾患(2) 5(2): 150-151, 2009.
- 8) 吉原重美: 誘発喀痰．小児科診療 72(7): 1271-1275, 2009.
- 9) 吉原重美: 乳幼児の気管支喘息管理に関するアンケート調査—JPGL2008の治療目標は達成されているか—．Pediatric Allergy for Clinicians 5(2): 62-65, 2009.
- 10) 吉原重美: 小児重症喘息の管理の現状．Prog. Med 29(1): 13-17, 2009.
- 11) 吉原重美: 特集「気管支拡張薬の功罪～小児～」: 貼付B2刺激薬の位置付け．アレルギー・免疫 16(1): 39-44, 2009.
- 12) 吉原重美: 喘息コントロール・既存治療の現状と今後の展望 重症喘息1)小児重症喘息の管理の現状．Prog. Med 29(1): 13-17, 2009.
- 13) 吉原重美: 乳幼児期の喘息の重症度による長期管理．小児内科 41(10): 1436-1441, 2009.
- 14) 吉原重美: 乳幼児期の喘鳴症候群-Reactive airway disease(RAD)の臨床像．小児科 50(1): 93-102, 2009.
- 15) 吉原重美: 中葉症候群．小児科診療 増刊号 72: 249, 2009.
- 16) 吉原重美: 感染症対策—意義と治療の実際— 気管支喘息のより良い実地治療管理を求めて．Medical Practice 26(3): 475-481, 2009.
- 17) 吉原重美: 気管支喘息のアレルギー炎症における温度感受性TRPチャンネルの役．アレルギーと神経ペプチド 5: 17, 2009.
- 18) 鈴村宏: RSVによる小児科再入院．小児科診療 72(9): 1713-1718, 2009.
- 19) 鈴村宏, 有阪治: 早産児一過性低サイロキシン血症の問題点．日本小児科学会誌 113(5): 808-816, 2009.
- 20) 鈴村宏, 新田晃久, 坪井弥生, 渡部功之, 栗林良多, 有阪治: 在胎33-35週で出生した児へのパリビズマブ投与: 産科医への情報提供も含めて．日本周産期・新生児医学会雑誌 45(4): 1293-1298, 2009.
- 21) 今高城治: 良性発作性斜頸．小児科臨床ピクシス 12: 110, 2009.
- 22) 小山さとみ: もっと知りたい成長のしくみ 第18回 子どもの成長 3つのステップ．ほのぼのふれんど(お子さまの成長を支援する情報誌) 18: 6-9, 2009.
- 23) 山田裕美, 吉原重美: RSウイルスと喘息発症の関連性．Pediatric Allergy for Clinicians 5: 12-14, 2009.

【学位論文】

- 1) Kenji Miyamoto, Tatsuo Tsuboi, Hiroshi Suzumura and Osamu Arisaka: Relationship between Aortic Intima-media Thickening, Serum IGF-I and Low-density Lipoprotein Particle Diameter in Newborns with Intrauterine Growth Restriction. *Clinical Pediatric Endocrinology* 18: 55-64, 2009.

【その他の学術論文】

- 1) 鈴村宏: 患者家族説明シート 未熟児網膜症. *ネオネイタルケア* 22(11): 1165-1168, 2009.
- 2) 今高城治, 宮本健志, 吉田敦: 山下哲史, 他「クロラムフェニコールが著効した硬膜下脳瘍合併化膿性髄膜炎の1例」(日本小児科学会雑誌113巻4号727-729, 2009年)について. *日本小児科学会雑誌* 103(9): 1469-1469, 2009.

【学術書】

- 1) Bateman ED, Boulet LP, Cruz A, FitzGerald M, Haahtela T, Levy M, O'Byrne P, Ohta K, Paggiaro P, Pedersen SE, Soto-Quiroz M, Tan WC, Wong GW, Yoshihara S et al: Global strategy for the diagnosis and management of asthma in children 5 years and younger. Global initiative for asthma(GINA) guidelines. Medical Communications Resources,inc. 2009.
- 2) 有阪治: adiposity rebound. *小児メタボリックシンドローム*. 五十嵐隆, 大関武彦編, *小児科臨床ピクシス6*. 中山書店. pp.30-31.
- 3) 有阪治, 相川薫: 食事せん. 永井良三, 五十嵐隆, 金子一成, 田原卓浩, 渡辺博 編, *小児科研修ノート*. 診断と治療社. pp.394-395.
- 4) 有阪治: 尿崩症. 内山聖, 安次嶺馨 編, *現場で役立つ小児救急アトラス*. 西村出版. pp.308-309.
- 5) 有阪治: 内分泌疾患. 五十嵐隆, 水口雅 編, *専門医をめざす小児科試験問題集*. 中山書店. pp.105-125.
- 6) 有阪治: 低浸透圧血症. 日本小児内分泌学会編, *小児内分泌学*. 診断と治療社. pp.249-255.
- 7) 有阪治: 甲状腺の発生と分化. 日本小児内分泌学会編, *小児内分泌学*. 診断と治療社. pp.387-390.
- 8) 有阪治: 甲状腺炎. 日本小児内分泌学会編, *小児内分泌学*. 診断と治療社. pp.402-407, 2009.
- 9) 有阪治: 亜急性甲状腺炎, 急性化膿性甲状腺炎. 日本小児内分泌学会編, *小児内分泌学*. 診断と治療社. pp.406-407, 2009.
- 10) 有阪治. 高久史磨監修, 青山隆夫, 阿部一幸, 有阪 治, 他編集, *ステッドマン医学大辞典第6版*. メジカルビュー社. 2009.
- 11) 有阪治. 高久史磨監修, 青山隆夫, 阿部一幸, 有阪 治, 他編集, *ステッドマンポケット医学略語辞典第1版*. メジカルビュー社. 2009.
- 12) 吉原重美: アナフィラキシー. 市川光太郎編集, *小児科疾患アルゴリズム*. 中山書店. pp.74-75, 2009.
- 13) 吉原重美: 運動誘発喘息. 日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会, *喘息予防・管理ガイドライン2009*. 協和企画. pp.163-166, 2009.
- 14) 吉原重美: 吸入ステロイド薬—小児. 足立満編集, *インフォームドコンセントのための図説シリーズ喘息*, 改訂3版. 医薬ジャーナル社. pp.58-63, 2009.
- 15) 吉原重美: 副腎皮質ステロイド剤 (外用剤). *医薬ジャーナル増刊号 新薬展望2009 (Vol.45 S-1)*. 医薬ジャーナル社. pp.193-205, 2009.
- 16) 吉原重美, 小野三佳: 乳児喘息の急性発作. 五十嵐隆編集, *小児科臨床ピクシス:年代別アレルギー*

疾患への対応. 中山書店. pp.106-109, 2009.

- 17) 吉原重美: 風邪のようにもみえないのに, いつも鼻づまりの息をしますが?。「周産期医学」編集委員会編, 周産期医学 2009 vol.39 増刊号周産期相談318 お母さんへの回答マニュアル第2版. 東京医学社. pp.450-452, 2009.
- 18) 吉原重美: しょっちゅう鼻がぐずぐずして, くしゃみも多いです. 風邪ですか?。「周産期医学」編集委員会編, 周産期医学 2009 vol.39 増刊号周産期相談318 お母さんへの回答マニュアル第2版. 東京医学社. pp.453-455, 2009.
- 19) 吉原重美: 口のまわりや頬, 顎がすぐに赤くなります. 軟膏を塗ると直るのですが?。「周産期医学」編集委員会編, 周産期医学 2009 vol.39 増刊号周産期相談318 お母さんへの回答マニュアル第2版. 東京医学社. pp.473-475, 2009.
- 20) 吉原重美: 喘息がありますが, 特に注意することを教えてください. 日本旅行医学会編, 旅行医学質問箱. メジカルビュー社. pp.230-231, 2009.
- 21) 吉原重美: 呼吸器疾患で注意することを教えてください. 日本旅行医学会編, 旅行医学質問箱. メジカルビュー社. pp.232-233, 2009.
- 22) 吉原重美: アスピリン喘息とはどういうものですか?。日本旅行医学会編, 旅行医学質問箱. メジカルビュー社. pp.234-235, 2009.
- 23) 鈴木宏: 先天異常, 遺伝性疾患. 河野寿夫, ベッドサイドの新生児の診かた 改訂2版. 南山堂. pp.323-374, 2009.
- 24) 志村直人, 市川剛, 有阪治: 先天性副腎過形成症. 山城雄一郎 編, ナースのための小児病態生理事典. ヘルス出版. pp.305-311, 2009.
- 25) 志村直人: 思春期早発症・遅発症. 永井良三監修, 小児科研修ノート. 診断と治療社. pp.308-309, 2009.
- 26) 今高城治: 小児科外来. とちサポ. 随想社. 2009.
- 27) 市川剛, 志村直人, 有阪治: 成長障害. 山城雄一郎 編, ナースのための小児病態生理事典. ヘルス出版. pp.8-14, 2009.
- 28) 山田裕美, 吉原重美: 非アトピー型喘息. 2009年 別冊 新領域別症候群シリーズ 呼吸器症候群(第2版)II-その他の呼吸器疾患を含めて-. 日本臨床社. pp.126-127, 2009.
- 29) 山田裕美, 吉原重美: 小児気管支喘息における乳児喘息の特異性一病態, 診断, 治療, 予後は?。秋山一男編集 他編, EBMアレルギー疾患の治療2010-2011. 中外医学社. pp.122-125, 2009.

【研究報告等】

- 1) 有阪治, 市川剛, 小嶋恵美, 小山さとみ, 西連地利巳: Adiposity reboundと代謝異常との関係に関するコホート研究. 厚労省小児期のメタボリックシンドロームに対する効果的な介入方法に関する研究班平成20年度報告書. pp.5-7, 2009.
- 2) 有阪治, 横谷進, 田中敏章, 雨宮伸, 長谷川奉延, 田中弘之, 原田正平, 松浦信夫: 内分泌疾患領域における未承認薬, 適応外使用の現状調査. 厚労省小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究班平成20年度報告. pp.259-263, 2009.
- 3) 有阪治, 島田由紀子: 胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討. 文科省科学研究費補助金, 萌芽研究課題番号19590270, 平成20年度報告書. 2009.
- 4) 黒澤秀光: 難治性小児白血病におけるアポトーシス抑制蛋白SURVIVINの発現機構の解明. 平成18年度~平成20年度科学研究費補助金基盤研究C研究成果報告書. 2009.
- 5) 今高城治: 小児期に発症する急性脳症における中枢性ベンゾジアゼピン受容体の脳内分布. 平成18年度~平成20年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B). 2009.
- 6) 今高城治: 重度の中枢神経疾患と慢性呼吸不全を併発した超重症児における在宅人工呼吸器療法.

【学会・研究会発表】

- 1) Imataka G, Katashio H, Wake K, Yamanouchi H, Arisaka O: Problems and future prospects regarding the mild brain hypothermia therapy protocol for infant. The 4 th Congress of Asian Society for Pediatric Research (ASPR), Hawaii, 2008-5-3 ~ 6.
- 2) Imataka G, Yamanouchi H, Arisaka O: Two cases of asperger syndrome that were diagnosed at 2 years of age. The 12 th Congress of Infantile Seizure Society (ISS), Kurume, 2009-5-9 ~ 11.
- 3) Chohunabayashi N, Sugiyama K, Kato M, Kimura T, Mochizuki H, Yasuba H, Yoshihara S, Fukuda T, Morikawa A, Adachi M: Impact of inhaled corticosteroid prescription at discharge from the emergency department on exacerbations of asthma in Japanese educational hospitals. ATS international conference, San Diego, 2009-5-18.
- 4) Imataka G, Yamanouchi H, Arisaka O: Neuro-radiological analysis and clinical presentation with ADEM due to cytomegalovirus infection. The 5th Congress of Asian Society for Pediatric Research (ASPR), China, 2009-5-21 ~ 24.
- 5) Imataka G, Nitta A, Yamanouchi H, Watanabe H, Suzumura H, Arisaka O: The life prognosis of trisomy 13 receiving intensive treatment. The 8 th Congress of East Asian Union of Human Genetics (EAUHG), Sapporo, 2008-6-19.
- 6) Yoshihara S: Prevention and therapy for allergic diseases in children. The first Asia-pacific conference on health promotion and education, Chiba, 2009-7-19.
- 7) Imataka G, Yamanouchi H, Arisaka O: High dose Phenobarbital suppositories as an initial therapy for benign infantile convulsion with mild gastroenteritis. The 10th Congress of Asia Oceania Child Neurology Association (AOCNA), Korea, 2009-6-10 ~ 13.
- 8) Koyama S, Ichikawa G, Yamazaki Y, Kojima M, Shimura N, Arisaka O: Early adiposity rebound is associated with metabolic status representative of metabolic syndrome at 12 years of age: A Cohort study. LWPEs/ESPE 8th Joint Meeting, New York, 2009-9-9 ~ 12.
- 9) Imataka G, Arisaka O: Long-term high-dose intravenous IVIg in a 2-year-old girl with Banker type juvenile dermatomyositis. The 11th World Congress of Pediatric Dermatology (WCPD), Thailand, 2009-11-17 ~ 19.
- 10) 有阪治: Adiposity reboundと代謝異常との関係に関するコホート研究．厚労省小児期のメタボリックシンドロームに対する効果的な介入方法に関する研究班成果報告会, 品川区, 2009-1-16.
- 11) 水口敬, 朝戸裕貴, 大和田葉子, 篠原真咲: き弱な皮膚における創傷被覆材の選択とその使用方法の工夫～劣性栄養障害型表皮水疱症における使用経験～．第1回日本創傷外科学会, 千代田区, 2009-1-16 ~ 17.
- 12) 有阪治: 内分泌疾患領域における未承認薬, 適応外使用の現状調査．厚労省小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究班成果報告会, 港区, 2009-1-21.
- 13) 吉原重美: ウイルス感染と気管支喘息．愛知県小児喘息フォーラム2009, 名古屋市, 2009-1-24.
- 14) 吉原重美: 小児気管支喘息の最新の治療～2008ガイドライン改訂を踏まえて～．栃木県医師会, 宇都宮市, 2009-1-29.
- 15) 吉原重美: 気管支喘息とRSウイルス．第17回小児臨床薬理・アレルギー・免疫研究会, 宇都宮市, 2009-1-31.
- 16) 福田啓伸, 阿部利夫, 西田光宏, 吉原重美: アナフィラキシーとアドレナリン自己注射液(エピペ

- ン) . 第17回小児臨床薬理・アレルギー・免疫研究会, 宇都宮市, 2009-1-31.
- 17) 福田典正, 土屋喬義, 山田裕美, 福田啓伸, 吉原重美: 開業医(小児アレルギー科) の立場から. 第17回小児臨床薬理・アレルギー・免疫研究会, 宇都宮市, 2009-2-1.
 - 18) 萩澤進, 福田啓伸, 杉山史弘, 奥谷真由子, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 松田和之, 矢部みはる, 小池健一, 有阪治: Bu+Flu+L-PAMの前処置による非血縁骨髄移植で拒絶されTBI+Cyの臍帯血移植で生着したJMMLの男児例. 第31回日本造血幹細胞移植学会, 札幌市, 2009-2-5 ~ 6.
 - 19) 奥谷真由子, 仲島大輔, 萩澤進, 大和田葉子, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 加納健一, 杉田憲一, 有阪治: 同種骨髄移植後に膜性腎症を発症した若年性骨髄単球性白血病の1例. 第31回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市, 2009-2-5 ~ 6.
 - 20) 黒澤秀光, 松下卓, 桑島成子, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 福島啓太郎, 杉田憲一, 有阪治: 肝臓に多発性結節性病変を認めた同種骨髄移植後の神経芽腫2例. 第31回日本造血幹細胞移植学会, 札幌市, 2009-2-5 ~ 6.
 - 21) 吉原重美: 小児喘息の薬物治療フロントライン. 桐生厚生病院勉強会, 桐生市, 2009-2-13.
 - 22) 宮本健志, 坪井龍生, 鈴村宏, 有阪治, 多田和美, 渡辺博: 胎児診断に難渋した大動脈縮窄症, 左室緻密化障害を合併したEbstein奇形の一例. 第15回日本胎児心臓病研究会, さいたま市, 2009-2-13.
 - 23) 福田啓伸, 吉原重美, 萩澤進, 福島啓太郎, 堀米史子, 岡本健太郎, 土岡丘, 藤原利男, 有阪治: ミルクアレルギーの合併により診断が難渋したヒルシュスプルング病の一例. 第9回食物アレルギー研究会, 東京, 2009-2-14.
 - 24) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: 栃木県内幼稚園および小学校における食物アレルギー児の実態調査. 第9回食物アレルギー研究会, 東京, 2009-2-14.
 - 25) 福島啓太郎: Voriconazoleによる抗腫瘍療法時の深在性真菌症の治療—小児における投与量と血中濃度の検討. 第10回真菌症フォーラム, 名古屋市, 2009-2-21.
 - 26) 吉原重美: 栃木県における学校現場での食物アレルギーの実態とその対策. 第15回アレルギー週間講演会, 宇都宮市, 2009-2-26.
 - 27) 吉原重美: 小児のアレルギー性鼻炎の治療戦略. 水戸アレルギーフォーラム, 水戸市, 2009-2-26.
 - 28) 吉原重美: 小児気管支喘息の治療戦略～ガイドライン2008改訂を踏まえて～. 旭川小児喘息セミナー, 旭川市, 2009-3-4.
 - 29) 有阪治: 小児肥満とメタボリックシンドローム. 平成20年度第2回学校医研修会, 兵庫県医師会, 神戸市, 2009-3-5.
 - 30) 吉原重美: 長時間作動型β2刺激薬の位置付け. 第5回Abbot Pediatric Asthma Meeting in Hokkaido, 札幌市, 2009-3-7.
 - 31) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: RSV細気管支炎における痰中Creolr Bodyの臨床的意義, 一喘息発症予測因子になり得るか. 第5回呼吸器バイオマーカー研究会, 東京, 2009-3-7.
 - 32) 吉原重美: 小児喘息の治療戦略～2008ガイドライン改訂のポイント～. 島根県小児科医会学術講演会, 松江市, 2009-3-14.
 - 33) 宮本健志, 市川剛, 坪井龍生, 小山さとみ, 志村直人, 鈴村宏, 有阪治: 子宮内発育不全児での動脈内膜中膜複合体厚とIGF-1濃度およびLDL粒子径との関係. 第6回日本小児栄養研究会, 板橋区, 2009-3-14.
 - 34) 吉原重美: 小児気管支喘息管理・治療ガイドライン改訂のポイント. 桶川市医師会学術講演会, 桶川市, 2009-3-19.
 - 35) 吉原重美: 小児喘息治療のup-to-date. 東京城西地区講演会, 東京, 2009-3-26.
 - 36) 吉原重美: 小児気管支喘息ガイドライン2008—気管支拡張剤の役割—. Hokunalin Tape 10th Anniversary Pediatric Asthma Symposium, 東京, 2009-3-28.

- 37) 渡部功之, 市川剛, 福田啓伸, 栗林良多, 宮本健志, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: 新生児期に発熱で発症した無痛無汗症の1例. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生町, 2009-3-29.
- 38) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 小山さとみ, 小澤武史, 有阪治: 発汗過多から発見された神経芽細胞腫の1女児例. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生町, 2009-3-29.
- 39) 刈屋桂, 坪井龍生, 平尾準一, 有阪治: Infliximabが有効であったガンマグロブリン不応川崎病の男児例. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生町, 2009-3-29.
- 40) 久松聖人, 山崎弦, 西田光宏, 有阪治: 生後1か月で発症した百日咳の2例. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生町, 2009-3-29.
- 41) 山田裕美, 吉原重美: 栃木県内園・学校における食物アレルギー対応の実態調査. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生町, 2009-3-29.
- 42) 吉原重美: JPGL2008の改訂と喘息長期管理への効果 82刺激薬. 第1回小児気道アレルギーフォーラム, 東京, 2009-4-11.
- 43) 吉原重美: 小児喘息治療における最近のトピックス. 第484回長野市小児科集談会, 長野, 2009-4-15.
- 44) 西田光宏, 山崎弦, 吉原重美, 福島啓太郎, 有阪治: 小児喘息コントロールテスト (C-ACT) の有用性の検討. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 45) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: 保育園・幼稚園・小・中学校における食物アレルギー児の給食対応の比較検討. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 46) 宮本健志, 市川剛, 坪井龍生, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: 子宮内発育不全児における大動脈内膜中膜複合体厚とIGF-I濃度について. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 47) 鈴木宏, 新田晃久, 渡部功之, 山内秀雄, 有阪治, 作田亮一, 村上信行: 出生時から全く体動がなく, 剖検で脊髄の脱髄を認めた1女児例. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 48) 桑島成子, 鈴木宏: 胎児MRIによる消化管閉鎖の出生前診断. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 49) 福田啓伸, 吉原重美, 西田光宏, 山田裕美, 阿部利夫, 有阪治: 健常と損傷皮膚におけるツロブテロール標準貼付剤と後発品との皮膚移行性の比較検討. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 50) 吉原重美: 小児気管支喘息とウイルス感染. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 51) 佐藤雄也, 奥谷真由子, 萩澤進, 松下卓, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 山内秀雄, 杉田憲一, 有阪治: A群溶連菌敗血症関連重症合併症を発症した悪性疾患患児例の検討. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 52) 志村直人, 市川剛, 小山さとみ, 神原亜紀子, 有阪治, 佐々木成, Bichet G Daniel: AVPR2遺伝子の欠失を認めた腎性尿崩症の一家系. 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 53) 市川剛, 山崎弦, 小嶋恵美, 小山さとみ, 志村直人, 西連地利己, 有阪治: 幼児期BMI reboundと学童期での動脈硬化形成性リスクとの関係(第2報). 第112回日本小児科学会学術集会, 奈良市, 2009-4-17 ~ 19.
- 54) 小山さとみ, Laura J Cobb, Hemal H Mehta, Navindra P Seeram, David Heber, 有阪治, Pinchas Cohen: ザクロ抽出物による前立腺癌細胞でのアポトーシスの誘導とIGF-IGFBP axisとの関連. 第82回日本内分泌学会, 前橋市, 2009-4-23 ~ 25.
- 55) 宮本健志, 坪井龍生, 有阪治: 子宮内発育不全児における大動脈内膜中膜複合体厚の検討. 第20回心エコー図学会, 高知市, 2009-4-23.
- 56) 吉原重美: 小児気管支喘息治療のトピックス. 栃木県小児アレルギー Expert Meeting2009, 宇都宮市, 2009-4-24.

- 57) 吉原重美: 児アレルギー疾患治療のUp-to-date. 大分市小児科医会, 大分市, 2009-5-13.
- 58) 宮本健志, 二木克之, 加納優治, 坪井龍生, 鈴木宏, 有阪治: 呼吸障害で発見された重症僧房弁閉鎖不全の一例. 第4回栃木循環器病研究会, 宇都宮市, 2009-5-21.
- 59) 吉原重美: 小児気管支喘息Up-to-date ~エビデンスからみた最新治療戦略~. 長崎大学小児科アレルギー勉強会, 諫早市, 2009-5-23.
- 60) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 小山さとみ, 有阪治, 西田光宏, 山崎弦, 藤田律子, 加藤有美, 高橋暁子: 大田原市小児生活習慣病健診としてのHbA1c測定と耐糖能異常の早期発見. 第52回日本糖尿病学会, 大阪市, 2009-5-21 ~ 24.
- 61) 吉原重美: 小児アレルギー疾患の最近の話題. 花巻市医師会学術講演会, 花巻市, 2009-5-25.
- 62) 吉原重美: 乳児喘息の診断と治療. 第26回小児日本難治喘息・アレルギー疾患学会, 福岡市, 2009-5-31.
- 63) 福田典正, 福田由紀美, 廣田直子, 高野清美, 白寄由美子, 今村祥美, 吉原重美: 当院患者アンケートにみる望ましい患者パンフレットのあり方の一考案. 第26回小児日本難治喘息・アレルギー疾患学会, 福岡市, 2009-5-30 ~ 31.
- 64) 福田由紀美, 福田典正, 廣田直子, 高野清美, 白寄由美子今村祥美, 吉原重美: 当院患者アンケートにみる望ましい看護師外来のあり方. 第26回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会, 福岡市, 2009-5-30 ~ 31.
- 65) 福田啓伸, 吉原重美, 西田光宏, 山田裕美, 阿部利夫, 有阪治: ツロブテロール貼付剤の皮膚移行性の検討ー標準製剤と後発医薬品製剤との比較. 第21回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-4 ~ 6.
- 66) 西田光宏, 吉原重美, 福田啓伸, 有阪治: 運動誘発性気道狭窄に対する薬剤効果を検討したコリン性蕁麻疹の女児例. 第21回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-4 ~ 6.
- 67) 菅野訓子, 吉原重美, 有阪治, 野田雅行: 思春期予後に及ぼす小児喘息長期管理薬による薬物治療の影響. 第21回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-4 ~ 6.
- 68) 吉原重美: 気道炎症とリモデリングの評価と治療ー小児喘息における気道炎症の評価と治療ー. 第21回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-4 ~ 6.
- 69) 加納優治, 今高城治, 二木克之, 久松聖人, 坪井龍生, 山内秀雄, 有阪治: 胃腸炎関係けいれんに対する静注用フェノバルビタールの使用経験. 第30回栃木てんかん研究会, 宇都宮市, 2009-6-5.
- 70) 吉原重美: 小児気管支喘息の早期介入「アレルギー疾患のNatural historyを変えることは可能か?」. 第49回日本呼吸器学会, 東京, 2009-6-12 ~ 14.
- 71) 吉原重美: 小児喘息治療のトピックス. 姫路喘息研究会, 姫路市, 2009-6-18.
- 72) 加納健一, 有阪治: 小児膀胱型夜尿症児におけるトルテロジンの効果. 第20回日本夜尿症学会学術集会, 宇都宮市, 2009-6-20.
- 73) 有阪治: 性分化異常症における精神的性発達の分析. 厚労省性分化異常症研究班成果報告会, 世田谷区, 2009-6-25.
- 74) 吉原重美: 食物アレルギーについてー栃木県における現状・課題とその対応ー. 平成21年度第1回栃木県学校医研修会, 宇都宮市, 2009-6-28.
- 75) 杉田憲一: 血友病患者に対する止血治療ガイドライン. 第1回両毛地区小児科勉強会, 太田市, 2009-6.
- 76) 有阪治: 小児の生活習慣病のコホート調査, とくにadiposity reboundとメタボリックシンドロームとの関係について. 第2回伊勢志摩DOHaDカンファレンス, 津市, 2009-7-4.
- 77) 友常孝則, 志村直人, 福田謙, 小山さとみ, 菅家一成, 笹井貴子, 有阪治: 内視鏡的膝管閉塞解除術を行った慢性膝炎の13歳女性例. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.

- 78) 鈴村宏, 高橋尚人, 山崎弦, 嶋岡鋼, 藤澤正英, 有阪治: 栃木県における2008年度乳児RSウイルス感染症入院例の調査報告: 早産児はパリビズマブで守られたか?. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.
- 79) 栗林良多, 市川剛, 宮本健志, 渡部功之, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴村宏, 有阪治: 当院で経験した右肺無形成の4例. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.
- 80) 渡辺泰治, 神原亜紀子, 尾股普子, 藤澤正英, 宮本健志, 坪井龍生, 平尾準一, 有阪治: 生後2か月(修正29日)で発症し呼吸管理を要した川崎病の1例. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.
- 81) 塚田佳子, 山崎弦, 西田光宏, 有阪治: 経鼻エアウェイによる管理を要した喉頭脆弱症の1例. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.
- 82) 五十嵐昭宏, 今高城治, 曾田沙世, 久松聖人, 有阪治: 小児痙攣重積症に対する静注用フェノバルビタールの使用経験. 第117回日本小児科学会栃木県地方会, 大田原市, 2009-7-11.
- 83) 新田晃久, 栗林良多, 渡部功之, 鈴村宏, 有阪治: 在胎24週で出生した窒息性胸郭異形成症(Jeune症候群)の超低出生体重児例. 第45回日本周産期・新生児医学会, 名古屋市, 2009-7-12 ~ 14.
- 84) 渡部功之, 栗林良多, 新田晃久, 鈴村宏, 有阪治: 父性片親ダイソミー14(Upd(14)pat)の表現型を有するIG-DMRの欠失例. 第45回日本周産期・新生児医学会, 名古屋市, 2009-7-12 ~ 14.
- 85) 簗義仁, 坪井龍生, 宮本健志, 金子昇, 三橋武司: 心房内血流転換術後遠隔期の心房頻拍に対するカテーテルアブレーション. 第45回日本小児循環器学会総会・学術集会, 神戸市, 2009-7-15 ~ 17.
- 86) 宮本健志, 坪井龍生, 鈴村宏, 有阪治: Stress-velocity関係と組織ドプラ法による低出生体重児の心機能評価. 第45回日本小児循環器学会総会・学術集会, 神戸市, 2009-7-15 ~ 17.
- 87) 有阪治: 成長ホルモンの生涯補充:GH-IGF-Iの心血管系への影響. 第1回栃木県成人GHD研究会, 宇都宮市, 2009-7-16.
- 88) 吉原重美: ウイルス性喘鳴と乳幼児喘息. 町田市医師会学術講演会, 町田市, 2009-7-24.
- 89) 吉原重美: 小児気管支喘息の薬物による早期介入. 第45回気管支喘息勉強会, 大阪, 2009-7-25.
- 90) 杉田憲一, 黒澤秀光, 有阪治: 稀な先天性凝固異常症の治療経験. 第82回埼玉血液同好会, さいたま市, 2009-7.
- 91) 白寄由美子, 廣田直子, 高野清美, 福田由紀美, 吉原重美, 福田典雅: アンケートにみる望ましい疾患パンフレットのあり方. 第19回日本外来小児科学会年次集会, さいたま市, 2009-8-29.
- 92) 吉原重美: 乳幼児喘息をどう診るか. Pediatric Expert-Meeting nagoya, 名古屋市, 2009-8-29.
- 93) 吉原重美: 乳幼児喘息の診断と治療. Pediatric Expert-Meeting nagoya, 名古屋市, 2009-8-29.
- 94) 吉原重美: 小児気管支喘息治療の最新の話. 第8回岡崎喘息座談会, 岡崎市, 2009-8-30.
- 95) 吉原重美: 小児喘息の早期介入に対する現状と未来. 第4回栃木小児アレルギー疾患懇話会, 宇都宮市, 2009-9-2.
- 96) 吉原重美: 小児喘息とウイルス感染. 小児気管支喘息フォーラム, 立川市, 2009-9-17.
- 97) 吉原重美: よりよい乳幼児喘息治療の実践に向けて. 第131回東信小児科医会学術講演会, 小諸市, 2009-9-25.
- 98) 吉原重美: 小児気管支喘息の最近の知見. Airway Forum in Kawagoe 2009, 川越市, 2009-9-30.
- 99) 原田正平, 有阪治, 横谷進, 雨宮伸, 田中敏章, 長谷川奉延, 田中弘之, 猪股弘明, 鬼形和道, 佐々木望, 佐藤浩一, 杉原茂孝, 西山宗六, 長谷川行洋, 田尻淳一, 藤枝憲二, 森昌朋: 抗甲状腺薬による小児期バセドウ病の重篤肝障害に関する日米の対応の違いについて. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 100) 鏡雅代, 加藤芙弥子, 松原圭子, 渡部功之, 有阪治, 緒方勤: 14番染色体インプリンティング遺伝子群の調節において, IG-DMRとME3-DMRは異なった役割をはたす. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.

- 101) 花木啓一, 西村直子, 田中敏章, 有阪治, 堀川玲子, 鴨井美由紀, 鞍嶋有紀, 長石純一, 神崎晋: 新しい対面式身長イメージ評価尺度の開発. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 102) 五十嵐昭宏, 内田雅俊, 今高城治, 福田謙, 小山さとみ, 志村直人, 有阪治: 高血圧家系と単純性肥満を基盤に発症した持続性本態性高血圧に併発したTIAの12歳女兒. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 103) 山崎弦, 志村直人, 福田謙, 市川剛, 神原亜紀子, 小山さとみ, 西田光宏, 有阪治: 肝硬変, 食道・胃静脈瘤を来した下垂体機能低下症の18歳女性. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 104) 福田謙, 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 今高城治, 小山さとみ, 有阪治: テデミル過剰投与による低血糖を来した1型糖尿病16歳男性. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 105) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 小山さとみ, 山崎弦, 西田光宏, 有阪治: 大田原市小児生活習慣病健診としてのHbA1c測定と問う代謝異常の早期発見. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 106) 島田由紀子, 市川剛, 志村直人, 小山さとみ, 堀川玲子, 有阪治: 胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討(第2報). 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 107) 神原亜紀子, 志村直人, 市川剛, 福田謙, 小山さとみ, 小澤武史, 有阪治: 発汗過多から発見された神経芽腫の1女兒例. 第43回日本小児内分泌学会, 宇都宮市, 2009-10-1 ~ 3.
- 108) 吉原重美: 小児気管支喘息のearly intervention. 多摩小児アレルギー講演会, 立川市, 2009-10-6.
- 109) 吉原重美: 栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査—2002年~2008年の比較—. 栃木県小児アレルギーフォーラム2009, 宇都宮市, 2009-10-8.
- 110) 吉原重美: ウイルス感染と小児喘息. 第19回鹿児島小児アレルギー研究会, 鹿児島, 2009-10-9.
- 111) 有阪治, 西連地利巳: 小児肥満症の病因と介入法についての最新知見: Adiposity reboundに着目した小児肥満症の早期介入. 第30回日本肥満学会, 浜松市, 2009-10-9 ~ 10.
- 112) 吉原重美: 小児アレルギー性鼻炎治療のUp-to-date. 第3回栃木耳鼻咽喉科フォーラム, 宇都宮市, 2009-10-16.
- 113) 山田裕美, 吉原重美: 乳幼児の呼吸困難とウイルス感染. 第42回日本小児呼吸器疾患学会, 高崎市, 2009-10-17 ~ 18.
- 114) 福田啓伸, 吉原重美, 阿部利夫, 山田裕美, 西田光宏, 有阪治: 健常皮膚におけるツロブテロール経皮吸収製剤の皮膚一次刺激性の検討—ジェネリック医薬品製剤と標準製剤の比較—. 第42回日本小児呼吸器疾患学会, 高崎市, 2009-10-17 ~ 18.
- 115) 吉原重美: アレルギー治療の最前線. アレルギー研修会2009, 宇都宮市, 2009-10-22.
- 116) 吉原重美: アレルギー疾患~診療のUP-TO-DATE—小児気管支喘息—. 第5回獨協医科大学病院連携医療懇話会総会, 宇都宮市, 2009-10-23.
- 117) 吉原重美: 食物アレルギー治療のUp-to-date. 第26回栃木県小児科医会総会学術講演会, 宇都宮市, 2009-10-24.
- 118) 福島啓太郎, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: Voriconazoleによる抗腫瘍療法時の深在性真菌症の治療—小児における投与量と血中濃度の検討—. 第71回日本血液学会学術集会, 京都市, 2009-10-23 ~ 25.
- 119) 土田昌宏, 小原明, 花田良二, 真部淳, 熊谷昌明, 高橋浩之, 金沢崇, 藤村純也, 富沢大輔, 康勝好, 嶋田博之, 森鉄也, 後藤裕明, 福島敬, 小池和俊, 野口靖, 小川千登世, 犬飼岳史, 福島啓太郎, 塩原正明, 加藤陽子, 前田美穂, 菊地陽, 梶原道子, 矢部晋正, 外松学, 太田節雄, 磯山恵一, 金子隆, 林泰秀: 東京小児がん研究グループにて1981年から1999年の5つの研究に登録された小児急性リンパ性白血病2035例の長期追跡結果. 第71回日本血液学会学術集会, 京都市,

2009-10-23 ~ 25.

- 120) 徳山美香, 谷澤昭彦, 遠野千佳子, 渡辺輝浩, 浜本和子, 黒澤秀光, 堀田紀子, 伊藤正樹, 村松秀城, 前田美穂, 加藤剛二, 鶴澤正仁, 堀部敬三: 小児 CML 患者におけるイマチニブ継続内服が成長に与える影響—日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG). 第 71 回日本血液学会学術集会, 京都市, 2009-10-23 ~ 25.
- 121) 伊藤正樹, 遠野千佳子, 村松秀城, 谷澤昭彦, 黒澤秀光, 浜本和子, 堀田紀子, 渡辺輝浩, 徳山美香, 長澤正之, 永利義久, 安井昌博, 嶋田博之: RIST を施行した小児 CML15 例の後方視的解析 (第二報)—日本小児白血病研究グループ (JPLSG). 第 71 回日本血液学会学術集会, 京都市, 2009-10-23 ~ 25.
- 122) 有阪治: 小児の体 (乳児期, 学童期, 思春期) の特徴と栄養. 文部科学省委託研修プログラム (島根県立大学), 出雲市, 2009-10-25.
- 123) 菅野訓子, 吉原重美, 福田啓伸, 阿部利夫, 有阪治, 山田裕美, 土屋喬義, 西田光宏, 浅井秀実, 飯村昭子, 安藤保, 小野三佳, 福田典正: 夜間睡眠障害を喘息コントロールの指標としたブデソニド吸入懸濁剤の有用性. 第 24 回東日本外来小児科学研究会, 宇都宮市, 2009-10-25.
- 124) 福田啓伸, 吉原重美, 阿部利夫, 有阪治: アレルギー性気道炎症に対する合成カンナビノイド刺激薬と NK1 受容体拮抗薬との比較検討. 第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田, 2009-10-29 ~ 31.
- 125) 山田裕美, 松本健治, 吉原重美, 七種美和子, 本間俊樹, 斉藤博久: Th1/Th2 サイトカイン前処理がヒト培養気道上皮細胞における RSV 感染に与える影響. 第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田, 2009-10-29 ~ 31.
- 126) 福田謙, 志村直人, 久松聖人, 市川剛, 小山さとみ, 有阪治: 膝関節炎のみを主訴としたシトステロール血症の 12 歳男子. 第 118 回日本小児科学会栃木県地方会, 下野市, 2009-11-1.
- 127) 福島啓太郎, 佐藤雄也, 吉原重美, 平尾準一, 有阪治: 重症肺炎を呈した新型インフルエンザ. 第 118 回日本小児科学会栃木県地方会, 下野市, 2009-11-1.
- 128) 奥谷真由子, 萩沢進, 松下卓, 佐藤雄也, 大和田葉子, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 化学療法開始前に腫瘍崩壊症候群をきたし血液透析を導入したバーキットリンパ腫の一例. 第 118 回日本小児科学会栃木県地方会, 下野市, 2009-11-1.
- 129) 西田光宏, 山崎弦, 刈屋桂, 吉原重美, 有阪治: 問診と運動誘発喘息の検討. 第 118 回日本小児科学会栃木県地方会, 下野市, 2009-11-1.
- 130) 片岡功一, 門田行史, 谷口周平, 森本康子, 南孝臣, 村上智明, 白石裕比湖, 多賀直行, 竹内護, 立石篤史, 河田政明, 坪井龍生, 桃井真里子: 心肺補助循環 (ECMO) を用いて救命しえた劇症型心筋炎の 1 症例. 第 118 回日本小児科学会栃木県地方会, 下野市, 2009-11-1.
- 131) 吉原重美: 乳幼児喘息をどう治療するか! . 岐阜 BABY SYMPOSIUM, 岐阜, 2009-11-6.
- 132) 有阪治: 小児の思春期異常・思春期早発症と思春期遅発症. 前橋市小児科医会, 前橋市, 2009-11-9.
- 133) 有阪治: 小児のメタボリックシンドロームの最新知見—特に, 将来の肥満・代謝異常を予想するアディポシテリバウンドの意義について—. 第 103 回お茶の水会, 文京区, 2009-11-12.
- 134) 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 当科における PFAPA 症候群 9 例の臨床像. 第 41 回日本小児感染症学会, 福井市, 2009-11-15.
- 135) 吉原重美: ウイルス感染と小児気管支喘息. 熊本アレルギー研修会 2009, 熊本, 2009-11-19.
- 136) 吉原重美: 小児喘息の診断・治療の Up-to-date. 釧路市医師会学術講演会, 釧路市, 2009-11-20.
- 137) 吉原重美: 小児気管支喘息診療の Up-to-date. ぐんま小児喘息フォーラム, 前橋市, 2009-11-26.
- 138) 吉原重美: 小児のアレルギー性鼻炎の診断と治療. 群馬県耳鼻咽喉科学術講演会, 前橋市, 2009-11-28.
- 139) 大嶋宏一, 康勝好, 小川千登世, 富沢大輔, 嶋田博之, 福島啓太郎, 藤村純也, 徳山美香, 長谷川大輔, 太田節雄, 高橋浩之, 真部淳, 熊谷昌明, 菊地陽, 小原明, 花田良二, 土田昌宏: 東京

小児がん研究グループ小児急性リンパ性白血病治療12から15次研究におけるBCP-ALL-NCI-SR群治療成績の検討. 第51回日本小児血液学会, 浦安市, 2009-11-27 ~ 29.

- 140) 黒澤秀光, 三井哲夫, 松下卓, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 福島啓太郎, 平尾準一, 杉田憲一, 小林正夫, 有阪治: G-CSFRの細胞外ドメインに変異を認めた先天性好中球減少症. 第51回日本小児血液学会, 浦安市, 2009-11-27 ~ 29.
- 141) 杉田真弓, 工藤寿子, 安藤久美子, 金子隆, 佐藤武幸, 佐藤雄也, 田野島玲大, 野中俊秀, 福岡講平, 福島啓太郎, 森脇浩一, 木下明俊, 太田節雄, 熊谷昌明, 花田良二, 土田昌宏: 小児におけるイトラコナゾール内用液投与時の血中濃度ならびに安全性の検討. 第51回日本小児血液学会, 浦安市, 2009-11-27 ~ 29.
- 142) 赤羽弘資, 犬飼岳史, 廣瀬衣子, 黒田各, 根本篤, 加賀美恵子, 合井久美子, 後藤裕明, 黒澤秀光, 杉田完爾: 17:19転座に由来するE2A-HLF融合転写因子による急性リンパ性白血病でのCD33発現誘導の機序. 第51回日本小児血液学会, 浦安市, 2009-11-27 ~ 29.
- 143) 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 奥谷真由子, 萩澤進, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 酢酸オクレオチド投与によりL-アスパラギナーゼによる脾炎を回避できたT-ALL男児例. 第51回日本小児血液学会, 浦安市, 2009-11-27 ~ 29.
- 144) 鈴木宏, 高橋尚人, 新田晃久, 有阪治: 栃木県における2008年度RSウイルス感染症入院症例の在胎週数調査. 第54回日本未熟児新生児学会, 横浜市, 2009-11-29 ~ 12/1.
- 145) 渡部功之, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: 在胎22・23週児の成長・発達予後 在胎22・23週で出生した児の聴覚予後. 第54回日本未熟児新生児学会, 横浜市, 2009-11-29 ~ 12/1.
- 146) 杉田憲一: 小児疾患のキャリアオーバーの問題点. 宮頸がん撲滅への医療連携講演会, 壬生町, 2009-11.
- 147) 杉田憲一: 小児救急医療の実際. 第2回小児科診療医師研修会, 栃木市, 2009-11.
- 148) 福田謙, 志村直人, 久松聖人, 市川剛, 小山さとみ, 有阪治: シトステロール血症の兄妹例. 第23回小児脂質研究会, 福岡市, 2009-12-4.
- 149) 阿部利夫, 吉原重美, 山田裕美, 土屋喬義: JPACおよびアンケートによる当院喘息児の実態調査1. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-5.
- 150) 吉原重美: RSウイルス感染と小児喘息. 庄内アレルギー講演会, 鶴岡市, 2009-12-18.
- 151) 吉原重美: ウイルス性喘鳴と小児喘息. The 17th Symposium of Asthma in Tokyo, プレナリーシンポジウム「喘息サブタイプ」, 東京, 2009-12-26.
- 152) 西田光宏, 山崎弦, 福田啓伸, 吉原重美, 有阪治: 喘息児の症状安定期における経ステロイド薬の気道可逆性と呼気中一酸化窒素濃度(FENO)変化の検討. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-5 ~ 6.
- 153) 山田裕美, 土屋喬義, 吉原重美: 血清TARC値が早期診断に有用だった乳児アトピー性皮膚炎の一例. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-5 ~ 6.
- 154) 菅野訓子, 吉原重美, 福田啓伸, 有阪治, 山田裕美, 阿部利夫, 土屋喬義, 西田光宏, 佐藤優子, 浅井秀実, 安藤保, 福田典正, 飯村昭子, 小野三佳: アレルギー性鼻炎を合併した小児気管支喘息に対するmontelukast sodium と fluticasone propionate の有効性の比較検討. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-5 ~ 6.
- 155) 福田啓伸, 吉原重美, 萩澤進, 福島啓太郎, 堀米史子, 岡本健太郎, 土岡丘, 藤原利男, 有阪治: ミルクアレルギーとヒルシュスプルング病が合併した一例. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-5 ~ 6.

【学術賞】

- 1) 今高城治: NICUで集中管理歴を有した13トリソミー症候群の長期予後に関する後向視的研究.

獨協医学会,平成21年度 獨協医科大学研究助成金 奨励賞,2009-6.

- 2) 今高城治: てんかんに関連する基礎・臨床研究業績における学術活動表彰. 日本てんかん学会, UCB & Otsuka 賞 日本てんかん学会 Sponsored Award, 2009-3.
- 3) 村上康二, 秋山一文, 窪田植木, 今高城治: 非FDG製剤によるポジトロンCTの臨床応用. 獨協医学会,平成20年度 獨協医科大学研究助成金 関湊賞(共同研究),2008-6.

【公開講座】

- 1) 杉田憲一: 児童生徒の心の問題. 芳賀郡市学校保健研究大会, 真岡市, 2009-1.
- 2) 杉田憲一: こどもの病気の見方. 日光市骨髄バンク登録推進協議会講演会, 日光市, 2009-2.
- 3) 杉田憲一: 乳幼児の病気の早期発見. 栃木県幼稚園連合会, 宇都宮市, 2009-6.
- 4) 杉田憲一: 乳幼児期の疾患と治療. 宇都宮小児科医会・宇都宮市乳児健診受託医療機関研修会, 宇都宮市, 2009-6.
- 5) 杉田憲一: 子どもの病気とけが～こんなときどうするの?～. はっぴい MaMa, 2009年講座(後期) 第1回, 上三川町, 2009-9.
- 6) 吉原重美: 子どものアレルギー疾患と食事について. 県東健康福祉センター, 真岡市, 2009-2-10.
- 7) 吉原重美: 小児アレルギー疾患の増加とその対応. 宇都宮市乳児健康診査受託医療機関研修会, 宇都宮市, 2009-3-18.
- 8) 吉原重美: 食物アレルギー対応の実際. 宮の原小学校, 宇都宮市, 2009-4-2.
- 9) 吉原重美: 学校における食物アレルギー児への対応について. 栃木市学校保健会研修会, 栃木市, 2009-5-8.
- 10) 吉原重美: 小児アレルギーの対応について. 平成21年度芳賀郡市学校保健会養護教諭部会研修会, 真岡市, 2009-7-2.
- 11) 吉原重美: 小児アレルギーの基礎知識. 第2回とちぎ健康塾, 栃木市, 2009-7-18.
- 12) 吉原重美: 施設における食物アレルギー児の健康管理—施設長および健康管理者編—. 平成21年度県西健康福祉センター食物アレルギー研修会, 鹿沼市, 2009-7-30.
- 13) 吉原重美: 乳幼児期の食物アレルギーへの対応について. 平成21年度県南健康福祉センター食物アレルギー研修会, 小山市, 2009-8-7.
- 14) 吉原重美: 食物アレルギーの知識と対応. 平成21年度安足健康福祉センター食物アレルギー研修会, 足利市, 2009-8-11.
- 15) 吉原重美: 食物アレルギーの現状と対応. 平成21年度鹿沼市学校保健研修会, 鹿沼市, 2009-8-25.
- 16) 吉原重美: 学校現場での食物アレルギーの実態とその対策. 平成21年度壬生町教育会食育部会第1回研修会, 壬生町, 2009-8-27.
- 17) 吉原重美: 食物アレルギーの基礎知識と対応について. 平成21年度県東健康福祉センター食物アレルギー研修会, 真岡市, 2009-8-27.
- 18) 吉原重美: 食物アレルギーの基礎知識. 平成21年度県北健康福祉センター食物アレルギー研修会, 矢板市, 2009-9-3.
- 19) 吉原重美: 食物アレルギーについて. 平成21年とちぎコープ生活共同組合講演会, 宇都宮市, 2009-9-24.
- 20) 吉原重美: 小児喘息と運動. メプチンフォーラム2009—吸入療法とアクティビティ—, 東京, 2009-11-14.
- 21) 鈴木宏: late preterm児に対するRSウイルス感染症の重要性. RSV Japan Global Expert Meeting 2009, 横浜市, 2009-6-13.
- 22) 鈴木宏: 早産児のRSウイルス感染症予防における産科医との連携(在胎33～35週児について). 第99回長野周産期懇話会, 松本市, 2009-9-2.

- 23) 志村直人, 小嶋恵美, 有阪治: 小児生活習慣病予防教室1. 小児生活習慣病予防教室2, 藤岡町, 2009-2-3.
- 24) 志村直人, 小嶋恵美, 有阪治: 小児生活習慣病予防教室1. 小児生活習慣病予防教室2, 藤岡町, 2009-2-6.
- 25) 志村直人, 市川 剛, 神原亜紀子, 今高城治, 小山さとみ, 有阪 治: 低血糖を繰り返した1型糖尿病16歳男子例へのレベミルの使用経験. レベミル発売1周年記念講演会, 宇都宮市, 2009-2-26.
- 26) 志村直人, 小山さとみ: 太田原小児HbA1c健診 医療者側からの報告. 太田原市小児糖尿病予防検査担当者検討会, 太田原市, 2009-3-13.
- 27) 志村直人: 子どもの成長に関する最新の知見. 第9回学校保健・保健活動セミナー, 宇都宮市, 2009-3-7.
- 28) 志村直人: 小児の肥満について 何時から太る, どうして太る, どうしたら治る?. 第10回学校保健・保健活動セミナー, 宇都宮市, 2009-8-22.
- 29) 志村直人, 小山さとみ, 市川剛, 有阪治: 成長ホルモン治療の光と影. 第22回栃木県こどもの成長を考えるフォーラム, 宇都宮市, 2009-10-29.
- 30) 志村直人: 成長ホルモン分泌不全性低身長症 思春期早発症 甲状腺機能低下症(原因・症状・治療法・予後・学校での注意点). 小児慢性特定疾患長期療養児支援事業, 栃木市, 2009-11-13.
- 31) 志村直人: こどもの成長と成熟へ身長・体重と二次性徴. 小児慢性特定疾患長期療養児支援事業, 栃木市, 2009-11-30.
- 32) 大和田葉子: 尿路感染症. 平成21年度 栃木県立のぞわ特別支援学校 医療的ケア研修会 講話, 宇都宮市, 2009-7-28.
- 33) 渡部功之, 栗林良多, 坪井弥生, 新田晃久, 今高城治, 鈴木宏, 有阪治: 当院における新生児痙攣のデジタルビデオ脳波. 塩原セミナー, 那須塩原市, 2009-11.

【新聞記事・書評等】

- 1) 有阪治: 朝食抜き, メタボの危険. 下野新聞, 下野新聞社, 2009-9-3.
- 2) 有阪治: 離乳食ノート. 乳児の肥満への対応. 赤ちゃんママ, 赤ちゃんとママ社, 2009-12.
- 3) 杉田憲一: リビングマロニエ. 第2回 インフルエンザ 第3回 急性咽頭炎・中耳炎 第4回 予防接種 第5回 給食がにがて 第6回 熱中症 第7回 患者の兄弟の気持ち 第8回 ながびく咳, 2009-1月～12月.
- 4) 吉原重美: 食物アレルギー診療のUp-to-date. 教育医事新聞, 第293号, 2009-1-25.
- 5) 吉原重美: SFCで小児喘息が著名に改善. Japan Medicine, P8, 2009-2-9.
- 6) 吉原重美: 第17回小児臨床薬理・アレルギー免疫研究会から. 教育医事新聞, 第294号, 2009-2-25.
- 7) 吉原重美: 食物アレルギーの対応を. 下野新聞, 第43993号, 2009-2-27.
- 8) 吉原重美: 小児気管支喘息の治療戦略～吸入ステロイド薬を中心に～ アレルギーセミナー: 日常診療におけるアレルギー疾患治療のコツ. Medical Tribune, 2009-3-12.
- 9) 吉原重美: 特集; 変わる食物アレルギー(重度の食物アレルギーが治った!). 日経メディカルオンライン, 2009-4-16.
- 10) 吉原重美: 食物アレルギー. 小児保健栃木, 26号 P18-26, 2009-4.
- 11) 吉原重美, 赤澤晃, 森川昭廣: 小児気管支喘息における新しい治療戦略 配合剤の役割は何か. 医薬ジャーナル, 45巻 P154-161, 座談会 3月26日, 2009-6-1.
- 12) 吉原重美: アレルギーは慢性疾患. 読売新聞, 2009-7-19.
- 13) 吉原重美, 藤澤隆夫, 勝沼俊雄, 近藤直実: 小児喘息の早期介入としてのアレルギー治療薬の役

割一喘息治癒を目指してー. 小児科診療, 72巻(8) P1549-1555, 座談会 4月8日, 2009.

- 14) 吉原重美: ウイルス性喘鳴と乳幼児喘息. 町田市医師会会報, 第435号 P1-2, 2009-11-5.
- 15) 吉原重美, 松原知代, 勝沼俊雄, 赤澤晃: 乳幼児気管支喘息—今後の方向性, *Pediatric Allergy for Clinicians*. エルゼビア・ジャパン, 5巻 P5-11, 座談会 7月10日, 2009.
- 16) 吉原重美: 新型インフルエンザ「卵アレルギーでも大丈夫?」. 下野新聞, 第44241号, 2009-11-8.
- 17) 吉原重美, 長谷川久弥, 望月博之他: 小児の無呼吸・呼吸困難を多面的に議論. *Medical Tribune*, No42 P26-27, 2009-11-26.
- 18) 吉原重美: 食物アレルギー/アナフィラキシー, 親子でつくる四季の献立. 栃木県保健福祉部健康増進課, P35-42, 2009.
- 19) 吉原重美: 小児喘息質問箱: 小児喘息の新しいガイドラインが発表されました. 2005年版から変更になった点は?. こども喘息くらぶ, No10 P9, 2009.
- 20) 吉原重美: 小児気管支喘息. *GSK pharmacist journal*, No24 P7-9, 2009.
- 21) 吉原重美: アドヒアランス向上のための薬剤選択. *Air*, No8 P4-5, 2009.
- 22) 吉原重美, 保澤総一郎, 東田有智: 気管支喘息治療における吸入療法の現状とその課題. 吸入療法, 2巻 P6-14, 座談会11月8日, 2009.
- 23) 今高城治: 次世代の大人達のために. 三田文学会ニュースレター 2009. Winter, 2009-1-10.
- 24) 福田啓伸, 阿部利夫, 吉原重美: 胃食道逆流モデルにおける気管支収縮と気道浮腫へのカンナビノイド B2(CB2) 受容体活性化による抑制効果. *アレルギーと神経ペプチド*, 5巻 P48-49, 文献紹介3, 2009-2.
- 25) 福田啓伸, 山田裕美, 阿部利夫, 吉原重美: 施設紹介—獨協医科大学病院小児科. *日本小児難治喘息アレルギー疾患学会誌*, 7巻 P62-65, 施設紹介, 2009-2-28.

【テレビ・ラジオ等】

- 1) 吉原重美: 第2回とちぎ健康塾. 2009-7-18.
- 2) 鈴木宏: NICU ってどんなところ?. 教えてドクター, CRT 栃木放送, 2009-6-12.
- 3) 鈴木宏: 早産で生まれた赤ちゃんのRSウイルス感染の予防. 教えてドクター, CRT 栃木放送, 2009-6-19.
- 4) 今高城治: 医師が本当に治療すべき対象は・・・. 日経メディカルオンライン, 2009-7-1.
- 5) 今高城治: 悲しき移植ツーリズムをなくすためには. 日経メディカルオンライン, 2009-2-17.
- 6) 今高城治: 軍事テクノロジーによる平和維持機構の終焉. 日経メディカルオンライン, 2009-5-1.
- 7) 今高城治: 科学が実現する寿命300歳! その時人類の姿は?. 日経メディカルオンライン, 2009-6-3.
- 8) 今高城治: 夏の線香花火に「死の瞬間」を思う. 日経メディカルオンライン, 2009-7-10.
- 9) 今高城治: 同性婚の合法化が進む米国, 対して日本は・・・. 日経メディカルオンライン, 2009-9-7.
- 10) 今高城治: 僕がミイラに思うこと. 日経メディカルオンライン, 2009-9-30.